



キャリア教育・進路だより

わだち

轍

下野市立国分寺中学校
進路指導部 今野勝巳
2023. 4. 14
第 1 号

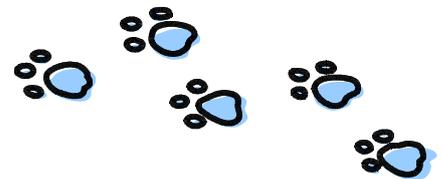
令和5年度がスタートして1週間が経ちます。新型コロナウイルス感染症も国民が一丸となり対策をしてきたため、収束の動きが見られマスク解除の声明も出ました。



学校行事については、従来のように実施できるようになってきました。全てが3年前と同じではなく、色々な変革を伴いながらの実施となっています。それでも、着々と成長する生徒達には日々感心させられます。この春、更に先に進む意欲を胸に、生徒の皆さんは今できる最高を目指し、学習や部活動等に取り組むことでしょう。そして本校全学年の生徒が、学習、生活ともに主体的に努力し続けると信じています。教室から聞こえる活発な声、真剣に清掃に取り組む姿、進んで部活動に向かい積極的に取り組むまなざしは、今までに培ったたくましささえ感じられます。更なる活躍に向けて、今後も前向きに頑張ってもらいたいと思います。

さて、このお便りはキャリア教育・進路だより「轍(わだち)」です。先日の集会等でも話題に出た言葉「温故知新」という言葉を読み砕いてみます。先人の生き方を真似することも大切です。先人を見習い自分らしく変化を加えていくこと、そして新たに人生の進み方を見つけ生きていくことが「道」となり「轍」となるのです。今までの環境や考え方で、到着したい場所は人によって少し違うはずですが、どこかで自分の道を作り進んでいくことが必要となります。今までに無かった道を自分の足で踏み固めて進んでいくことになるのです。道なき道を進むとき、不安はつきまとうものです。草が生い茂っているかもしれない、ぬかるんで歩きにくいかも知れない、それでも自分の夢を叶えるために着実な一歩を繰り返し進めていく、キャリア教育そのものです。

「キャリア教育」とは「一人ひとりが歩んできた人生の積み重ねと、これからの歩み」を総合的に表すものです。したがって、幼児から大人まで全ての人にキャリア教育が当てはまります。人が周りから何かを学び・自ら判断し・次の一歩を踏み出すことができる間はずっと「キャリア教育」は続きます。中学校では「自己を正しく理解し、自己実現に努力する態度を育て、将来に向かって夢や希望を実現可能にする」ために様々な学習を行います。中学校3年間で多くの事を学び、自分の進路実現に向け努力をして欲しいと思います。



お知らせ

高校の一日体験学習やオープンキャンパス等、実施される方向です。新しい情報が入り次第、お知らせいたします。

今年度の主な予定(進路に関わるもの)

5月1日	第1回進路希望調査締切(3年)	11月	職業人の話を聞く会Ⅰ(1年)
6月	職場体験学習(2年)	12月	第3回進路希望調査(3年)
夏休み中	三者面談(3年)		職業人の話を聞く会Ⅱ(1年)
9月	第2回進路希望調査(3年)	1月	私立高校入試(3年)
10月	高校入試説明会(3年)	2月7日、8日	栃木県立特色選抜入試
10月23日~11月2日	三者面談(全学年)	3月6日、7日	栃木県立一般選抜入試